

福島県
書道連盟

会報

第29号

令和4年3月31日発行

福島県書道連盟
広報部

本部〒960-1101
福島市大森字鶴巻67-6
電話 (024) 539-7548

令和三年度 第四十五回福島県書道連盟展

「紙上展」

【一般の部】

吹到幾番花信風
東臺春色漸冲融今朝認得鐘
聲緩來自香雲暖雪中

偶成其一 225×53cm

福島県知事賞
新田 溪楓 (小野町)

いあも書道連盟
古今和歌集の歌

古今和歌集の歌 231×53cm

福島県書連大賞
佐藤 香月 (伊達市)

齋歎

齋歎 136×70cm

福島県書連大賞
二階堂 黄岳 (福島市)

古大
農家の眠る
庭砂塵の
中で蝶が
舞う

三好豊一郎の詩 70×136cm

福島県文化センター館長賞
佐藤 陽扇 (会津若松市)

恵風

恵風 60×180cm

福島市長賞
神永 溪山 (塙町)

閑為水竹雲

閑為水竹雲 205×53cm

福島市教育委員会教育長賞
酒井 幽泉 (只見町)

宿命潜悟如識金環抱持不遺若注瓶水九歲
落疑住西京龍興寺從僧錄也進具之年昇座
講法損收弥藏異窮子之疾走直詣寶山無化
城而可息尔後因靜夜持誦至多寶塔品身心
泊然如入禪定忽見寶塔宛在目前釋迦分身
遍滿空界行勤聖現業淨感深悲生悟中淚下
如雨遂布衣一食不出戶庭期滿六年擔建茲塔
既而許王璵及居士趙崇信女普意

臨 多宝塔碑 136×70cm

福島県書道連盟賞
飯沼 咲華 (川俣町)

鉛銀手拈一枝筆跡景端肖
横又斜自信對君幾箇中
清翁二字是僅存

岩溪裳川詩
藤井溪峰書

岩溪裳川詩 205×53cm
読売新聞東京本社福島支局賞
藤井溪峰(小野町)

富士山の夜明

夜明はあけぼの
原を過る
遠州の
難波が
真止處
富士は
雲に
隠れ
十三郎
清紫書

富士山の夜明 70×136cm
朝日新聞福島総局賞
佐藤清紫(福島市)

流風起天未嘗子愛如何
紅湖秋水文章惜命達
人過極其閑談語報詩贈
納解

李白詩
西牧大篁書

李白詩 205×53cm
福島民友新聞社賞
西牧大篁(小野町)

不眠愁如絲
燈火
清松
隔香日
髮多情起
前此多事
荒鵲
如鳴

向山黃村詩
阿部大河書

向山黃村詩 224×53cm
福島民報社賞
阿部大河(小野町)

國破山河在城春草
木深感時花濺淚恨
別鳥驚心

杜甫詩
春望
春邨

春望 136×55cm
福島中央テレビ賞
内海春邨(会津若松市)

寒生市浦楓初落秋
入東離弟也

華泉書

七言對句 205×53cm
福島テレビ賞
松本華泉(小野町)

龍門橫野斷
近金銀佛
寺宇復來時
應改川陸
恩哉相寬征途
上生屋定藏書

龍門橫野斷
矢吹牙月書

龍門橫野斷 174×55cm
NHK福島放送局賞
矢吹牙月(福島市)

月出茅井
秋高
在馬橋
風條
疎鳴露
菊海
度一河
一松
水流
富常
念念
人心
付期
沙河
更

秋夕
須田愛泉書

秋夕 205×53cm
毎日新聞福島支局賞
須田愛泉(福島市)



絶句（杜甫）

7.5×7.5cm×2顆

ラジオ福島賞

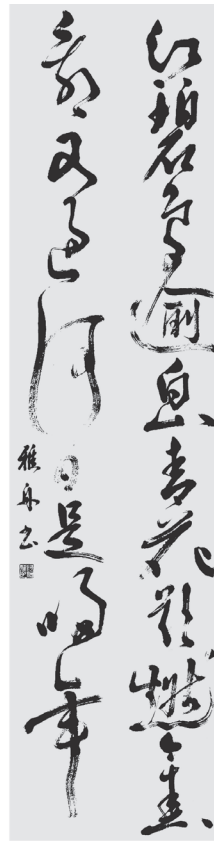
小板橋 京 霞（会津若松市）



龍翔鳳舞 210×53cm

ふくしまFM賞

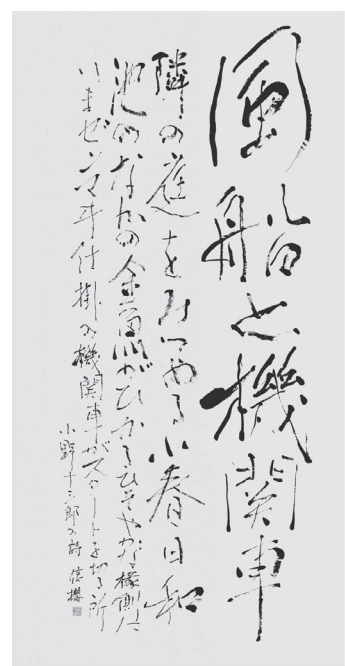
安藤 友 翠（郡山市）



絶句 204×53cm

テレビユー福島賞

阿 曾 雅 舟（川俣町）



風船と機関車 136×70cm

福島放送賞

佐 藤 信 櫻（川俣町）

福島県知事賞を受賞して

新 田 溪 楓

（田村郡小野町）

この度、第四十五回福島県書道連盟展に於きまして、最高賞である「福島県知事賞」を賜り、厚く御礼申し上げます。

幼い頃、父宛ての年賀状の筆文字をチラシの裏に何気なく模写していたことがきっかけで「字を書く」ことが好きになりました。

小学生で故星不息先生に師事し習字の基礎を叩き込まれ、社会人になると同時に阿部大溪先生に師事し、現在も書道の魅力や奥深さを教えていただいております。その中には同門の方々や御推挙いただきました菅野精堂会長はじめ、県書道連盟の諸先生方との出会いがあり、今回の受賞につながったものと改めて深く感謝申し上げます。今後も研鑽を重ねるとともに、字を書くことの楽しさを次の世代に繋いでいきたいと思っています。

結びに、福島県書道連盟の益々の御隆盛と諸先生方の御健筆をお祈り申し上げます。今後とも御指導下さいますようお願いいたします。

福島県書道連大賞を受賞して

佐 藤 香 月

（伊達市）

県書連の仕事で学法福島高校の書道部室に皆で荷物を運んだ折、精堂先生から、思いがけず大字仮名の書をお戴きました。我家の屋久杉の棚に仕舞い込みながら、気になっていて、徐に取り出して書いてみました。仮名文字が桜の花弁が舞い散る如く、落下してゆく様は、優しく、麗しく感動したのです。その仮名文字は先生そのものに思われました。先生は後期高齢者の私たちにも、常に親切で優しく慈悲深く、努力と苦勞で奥義を極めた人のみが醸し出せるお人柄で教えてくださり、仮名文字は先生のお人柄そのものでした。令和三年度第四十五回の県書道連盟展にも迷わず仮名で出品し、幸運にも「県書連大賞」をお戴きました。

これも偏に、精堂先生はじめ、雅峰先生、夕佳先生、そして精芳書道会の皆様のお陰と、感謝の気持ちで一杯です。「是非初心忘るべからず、時々初心忘るべからず」、と心を引き締め、精進してゆく所存であります。今後とも皆様、ご指導ご鞭撻よろしくお願ひ申し上げます。

福島県書道連大賞を受賞して

二階堂 黄 岳
(福島市)

この度、第四十五回福島県書道連盟展におきまして、「福島県書道連大賞」をいただき、誠にありがとうございます。これも偏に、菅野精堂会長をはじめ、諸先生方のお力添えによるものと深く感謝申し上げます。

私は、先に書道教室を作った先生のあとを継承し、「継続は力なり」を信じ、仲間と共に書道を続けておりました。今から十年程前、菅野晞光先生より福島県書道連盟へのお誘いをいただき、仲間に加えていただきました。会員も喜んで加わり大変感謝されました。今では毎年作品作りの機会を作っていただき喜んでおります。今回の受賞は晞光先生はじめ、会員全員の支えもあつての受賞でもあり、重ねて感謝申し上げます。

今後は、更なる研鑽を重ね、上の作品をめざして参ります。今後共、更なるご指導の程、お願い申し上げますと共に、県書道連盟の益々の発展を心より祈念申し上げます。

最優秀団体賞「文部科学大臣賞」を受賞して

富田東書写研究会

安 斎 幸 男
(郡山市)

この度は、思いの外大きな賞の受賞に、たいへん恐縮すると同時に、大きな喜びと深い感謝の意を表します。

書写の授業は、基礎・基本の習得の場です。そもそも、日常の書き文字をより良く書くための学習の場として指導しております。

対して、書道展出品は、そこで学んだことの習熟、応用・発展、研鑽の場であると考えております。別言すれば、腕試しの場であります。

言わば、車の両輪のような活動を当たり前に続けている中で今回の結果は、指導者にも、児童・生徒たちにも、日頃の活動への取り組みが良かったこと確かだったことを自覚する機会と、大きな励ましを与えていただけたと認識しております。

この賞に奢ることなく、でも、胸を張って、書写指導と書道展出品の活動に取り組んで参ります。どうぞよろしくお願いいたします。

最優秀団体賞「県書道連盟大賞」を受賞して

書道研究会 大師塾

会長 郡 司 聖 峰
(田村郡小野町)

この度は、栄えある最優秀団体賞「県書道連盟大賞」を拝戴し、大変恐縮しております。ご推挙いただきました菅野精堂会長をはじめ同連盟の諸先生方に厚く御礼を申し上げます。また、本会主宰阿部大溪先生並びに阿部大河先生の熱心なご指導の賜と深く感謝申し上げます。

我が大師塾ではコロナ禍による制約が多い中、広々とした新教場「志學館」において、古典臨書を大切にしながら日々充実した制作活動に取り組んでおります。本賞は、一人で受賞できるものではなく、学童部から一般部の塾生全員の努力の成果であり、喜びもひとしおです。これを励みに、今年度も基本を大切にしながら、会員一丸となつて書美の追求に勤しんで参る所存です。

結びに福島県書道連盟並びに所属される皆様の御健筆をお祈り申し上げます。受賞の御挨拶とさせていただきます。今後とも変わらぬ御指導を賜りますようよろしくお願いいたします。

最優秀団体賞「福島市長賞」を受賞して

後藤教室

後 藤 翠 春
(須賀川市)

此の度は大変栄えある「福島市長賞」を頂きまして心より感謝申し上げます。今は大事なことで、大切なことが一つまた一つと中止され、継がれてきたことが中断されることが多い日々です。そんな中、県書道連盟展が行われるとのこと大変喜ばしく、心より感謝いたしました。

子どもたちばかりではなく、指導者である私たちにおいても何らかの結果が出ることは励みになり希望に変わります。その結果はまた次へのステップとなります。大人も子どもも書友に変わります。何か一つでも目標を見出せる世の中であつて欲しいと願っています。継ぐこと、繋がっていくことの大切さを大事にしたいと思っております。

先の見えない日々が続くとは思いますが、新たな目標に向かって頑張っていきたいと思えます。末筆になりましたが、温かく見守って下さる連盟の皆様や関係の皆様にご心より厚くお礼申し上げます。

高校生の部 大賞を受賞して

学校法人松韻学園福島高等学校

三年 阿 曾 萌 生

(福島市)

この度、福島県書道連盟展において、高校生の部で「大賞」をいただき、誠にありがとうございます。光栄な賞をいただき、本当に嬉しく思っています。私が学法福島高校に入学した最も大きな理由は、書道部顧問の菅野精堂先生の下で「大字仮名」を学び、全国高等学校総合文化祭に出場したり、さまざまな大会で大賞受賞を目指したいと思ったからです。菅野先生に出会って、初めて漢字にはない仮名特有の流れや筆遣いを知りました。毎日筆に触り何度も練習し、体に感覚を覚え込ませました。昨年の八月には、目標としていた全国高等学校総合文化祭に福島県代表として出品・参加させていただきました。そこでは、レベルの高い作品に圧倒され、これから書く作品の励みになりました。

今回、福島県書道連盟展において「大賞」を受賞できたことは、自分自身にとって大きな自信になりました。菅野先生をはじめ、諸先生方のおかげだと思っています。ありがとうございます。

学生の部 大賞を受賞して

福島大学

二年 清 野 里 那

(田村郡小野町)

この度は、福島県書道連盟展におきまして、学生の部で「大賞」をいただくことができ、大変嬉しく思います。これも日頃から熱心に御指導くださる阿部大溪先生、阿部大河先生および大師塾会員の皆様のおかげです。素晴らしい環境で書道に取り組めることに深く感謝します。

今回、初めて顔真卿の筆法を用いて作品制作をしました。新たな挑戦で苦勞する面も多かったですが、先生方の御指導のもと納得のいく作品をつくることができました。

現在、大学で行政について学び考える中で、自分も生まれ育った福島に書道を通して何らかの形で貢献したいと思っています。そのためにこれからも書道の技術や知識を深めるとともに学業にも力を入れ、書道において出会った方々や地域の人々に少しずつでも恩返ししていきたいです。

結びに福島県書道連盟と皆様の御健筆をお祈り申し上げ、受賞の御挨拶とさせていただきます。

小中学生の部 大賞を受賞して

福島市立御山小学校

三年 五十嵐 葵

この度は、大賞という素晴らしい賞に選んでいただき、ありがとうございます。

新型コロナウイルス感染症の影響で、今まで当たり前だと思っていたことが、当たり前にできなくなっていました。そんな中、書いている自分も元気になり、見てくださる方にも明るい気持ちになっただけのような作品を書きたいと思い、書道教室の先生に教えていただきながら、「生きる力」を書きました。

展覧会を見に行くと、たくさんの方が私の作品を見てくださっていたので、「がんばって良かった」とうれしくなりました。すばらしい作品がたくさん展示されていて、見ている方たちの目がいきいきとしていました。私は「やっぱり展覧会はいいな」と思いました。いつも熱心に教えてくださる書道教室の先生や応援してくれる家族、福島県書道連盟の先生方への感謝の気持ちを忘れず、これからもすてきな作品を書けるよう、がんばります。

小中学生の部 大賞を受賞して

南会津町立南会津中学校

三年 中 山 翠

この度は、小中学生の部で大賞を頂くことができ大変嬉しく思います。県書道連盟の皆様、いつも応援してくださる先生や家族に感謝の気持ちで一杯です。

小さい頃から字を書くことが楽しくて、今でも自分の好きな文字を書くことが大好きです。今回出品した作品も自分で選んだ題であり、楽しく練習に取り組むことができました。意欲的に取り組むことができた結果、今回の受賞につながったのだと思います。

私は五歳から書道を始めましたが、同じ頃からアルペンスキーも始めました。小学生になると競技も始め、大会に出るようにもなりました。コンマ差を競うアルペンスキーは、一本の滑りにかける集中力が必要です。その集中力を、書道を続けることで養うことができたと思っています。

今後も書道を続け、よい作品を書けるよう努力していくと同時に、書道を通して自分を高めていけるよう、精一杯頑張りたいです。

令和三年度福島県書道連盟 活動状況報告

福島県書道連盟 会長 菅野 精堂（忠信）

「おかげさまで」

しばらくは 離れて暮らす

コとロとナ　つぎ逢ふ時は

君といふ字に

昨年(第四十四回展)の作品集の「あいさつ」の中結びに引用させていただいた短歌です。「君」という字を分解すると「コ」「ロ」「ナ」の三文字。新型コロナウイルスの影響で大切な人と会えないつらさや未来への希望を綴った歌に希望の灯のまたたきを感じました。昨年度の「誌上展」から一年が経過した現在も、未だ新型コロナウイルス感染症の収束には至っておりませんが、第四十五回という節目の記念展となる今年度は、会期と公開時間を短縮するとともに表彰式は行わないなど、私たちにできる最大限の感染防止対策を講じながら、一般公開展示をさせていただきます。

これも偏に、県内外の書を愛する大勢の方々から出品していただくとともに、福島県、県教育委員会をはじめとする多くの後援団体様からのご支援のおかげと、心より感謝を申し上げます。

第四十五回展の開催にあたり、私自身、「木があればその下に陰ができ、この陰があることで雨や暑さをしのぐことができるので、お陰様で雨をしのぐことができました」という感謝の気持ちで湧いてくるような思いを強くいたしました。

私は「おかげさまで」という言葉が好きです。他人から受ける利益や恩恵を意味する「お陰」に「様」を付けて丁寧にした言葉です。古くから「陰」は神仏などの偉大なものの陰で、その庇護を受ける意味として使われています。「諸法無我」の語が示す通り、世の中のものはすべて単独で存在するものではなく、お互いに関わりあって存在します。言うまでもなく「陰」の部分は見ようとしなければ絶対に見えません。今、現実としてあることが「当たり前前（当然）」だと思いません、目に見えない「陰」の部分を見て、「陰」からの支えがあるからこそ「お陰様で今があるのだ」ということに「有り難み」を感じ感謝することの大切さに改めて気付かされます。

コロナ禍の今だからこそ、安全対策を講じて、「新しい開催様式」を模索

しながら展覧会の実施を継続すること
で、地元福島のために微力ながら力を
尽くして参りたいと考えております。

江戸時代、伊勢神宮にお参りするこ
とを「おかげ参り」といっていました。
神のお恵み（おかげ）をいただこうと、
多くの人がお伊勢さんを目指したわけ
です。現在、伊勢神宮のそばに「おか
げ横丁」という町並みがあります。が、
それは、お伊勢さんのおかげで商売が
できていることに感謝してのネーミン
グなのだそうです。これと同様に、私
たち福島県書道連盟も皆様からのお力
添え（おかげ）を賜りながら、一歩ず
つ着実に前進をして参りたいと考えて
おります。



こ・ら・む

漢字の振り仮名を

「ルビ」と呼ぶわけ

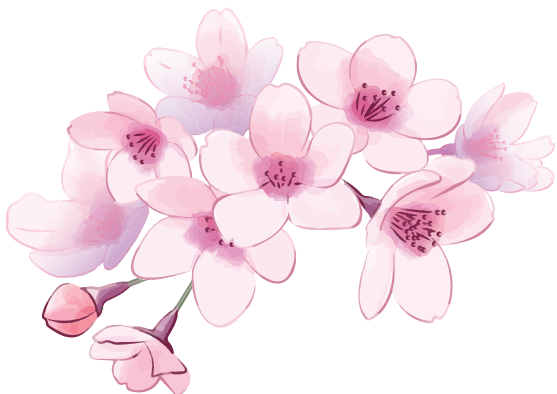
會長 菅野 精 堂

(福島市)

漢字の読み方を示すために、そのわきにつける仮名のことを「振り仮名」といい、縦書きの場合、ふつう漢字の右側につける。たとえば、「梅雨」は「ばいう」、あるいは「つゆ」とも読む。そこで「つゆ」と読ませたいときには「梅雨」の右側に小さい文字で「つゆ」と振り仮名を付ける。

その振り仮名のことを「ルビ」ともいい、文中の漢字すべてに振り仮名をつけることを総ルビ、一部の漢字だけにつけるのはパラルビという。どうしても振り仮名のことを「ルビ」というのか。

ルビーという名の赤い色の宝石がある。振り仮名を意味するルビは、宝石のルビー (ruby) からきている。印刷に用いる、鉛などでつくった文字を活字といい、活字を組んで行なう印刷を活版印刷という。現在では活版印刷は少なくなってきたが、活字の大きさは



「号」や「ポイント」で表されている。日本の印刷物ではかつて5号の大きさの活字がよく用いられ、その振り仮名には7号（5・25ポイント）の大きさの活字が主に用いられた。イギリスやアメリカでは、活字をその大きさによって、ルビー、エメラルド、ダイヤモンドなどと宝石名で呼んでいた。ルビーと呼んでいたのは5・5ポイントの活字で、わが国で振り仮名用として使われていた7号活字の大きさに近かったことから、その振り仮名用の活字をルビーと呼ぶようになり、振り仮名のこともルビーというようになった。

追悼

故・水口翠峰先生

去る令和三年九月六日、福島県書道連盟 総務 水口翠峰先生（本名…忠光先生）が逝去（享年八十三才）されました。水口翠峰先生は水口書道会（川保町）の代表として、後進の指導育成に心血を注がれ、今日までの長きにわたり福島県書道連盟展の一般の部、小中学生の部に素晴らしい作品を多数出品してくださいました。また、常に書学を通して自己研鑽を積み、献身的で温厚篤実かつ謙虚なお人柄と書に対する旺盛な向学心と探究心を持って努力されるお姿は、私たちに範を示してくださいました。そして、福島県書道連盟総務、常任理事、審査員などの要職を務められ、本連盟の発展と活動に寄与されたご功績は多大なるものがあります。私たちが会員一同、翠峰先生の情熱とご遺志を引き継ぎ、福島県書道連盟の活動をより良いものにできるよう努力していく所存です。ここに故・水口翠峰先生のご生前のご厚情に深く感謝するとともに、先生のご功績を偲び、心からご冥福をお祈り申し上げます。

令和三年十月

福島県書道連盟会員一同

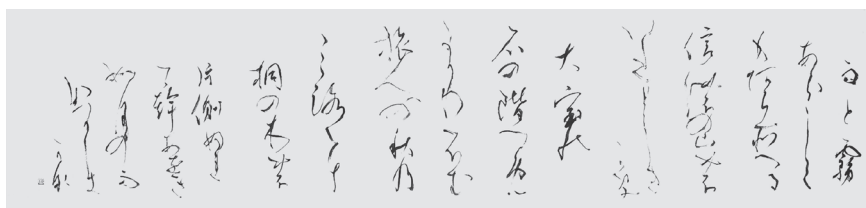
合掌



令和元年11月17日
第43回展 祝賀懇親会
於：ホテル福島グリーンパレス



平成29年度県書道実技講習会（一泊研修）
於：飯坂温泉 ホテル聚楽



雨と霧

菅野精堂
（福島市）

雨と霧 あらあらしくも あらそへる 信濃の山の いたましきかな
大室の 石の階（ぎざはし） つめたかり ふむ旅人の 秋のこころに
桐の木の 片側ぬれて 幹青き 如月の雨 なつかしきかな
（与謝野晶子歌集）



八風吹不動

昭和三年生・九十三歳

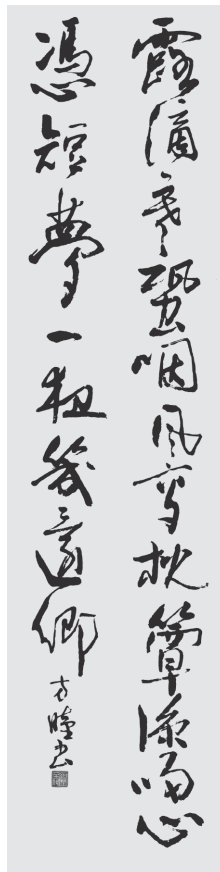
遠藤 峯順 (会津若松市)



露滴寒蛩咽

大正十三年生・九十七歳

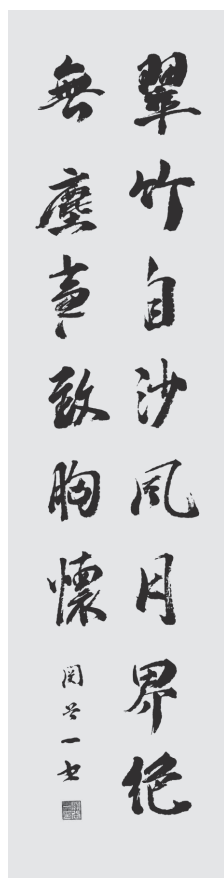
紺野 方瞳 (福島市)



翠竹自沙風

昭和三年生・九十三歳

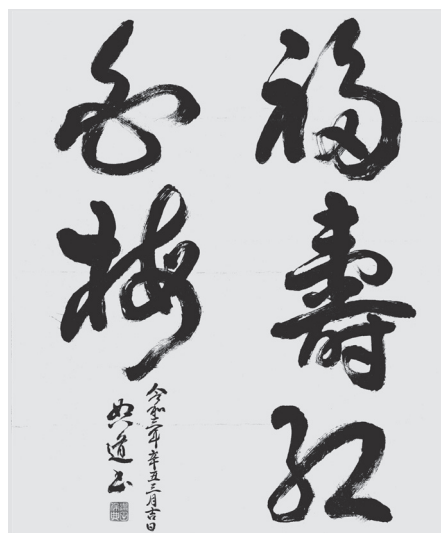
関谷 一 (只見町)



136×35cm

136×35cm

136×35cm



福壽紅白梅

昭和四年生・九十一歳

湯田 典道 (南会津町)

80×60cm



第45回展会場 (R3.10.15~17)



第45回展会場 (R3.10.15~17)

【学童の部】

◎大賞

福島市立御山小学校
三年 五十嵐 葵

生き
御山小三 五十嵐 葵

◎準大賞

いわき市立長倉小学校
五年 末 永 万 結

五色
長倉小五 末 永 万 結

小野町立小野小学校
六年 宗 像 奏 美

親切
小野小六 宗 像 奏 美

【高校生の部】

◎大賞

夕されば
学法福島高校 三年 阿 曾 萌 生
(福島市)

夕されば
学法福島高校 三年 阿 曾 萌 生
(福島市)

◎準大賞

臨 孫秋生造像記
福島東高校 三年 遠 藤 瑠 夏
(福島市)

榮茂春葩連槐獨秀
蘭櫛鼓韻於昌
瑠夏臨

◎準大賞

臨 美人董氏墓誌銘
郡山東高校 三年 先 崎 美 咲
(小野市)

花耀芳囿霞綺遙天
波驚洛浦芝茂瓊田
嗟乎顏曰
美人董氏墓誌銘 美咲臨

◎準大賞

臨 張猛龍碑
福島東高校 二年 渡 邊 美 南 海
(福島市)

白首方堅君體稟河
靈神資岳秀桂
美南海臨

136×35cm

136×35cm

136×35cm

136×35cm

【学生の部】

◎大賞

石川丈山詩 富士山
福島大学 二年 清 野 里 那
(小野町)

仙客來遊雲外巔
龍棲老洞中淵雪如
紈素煙如柄白扇倒
懸東海天
石川丈山詩富士山 里那書

◎準大賞

臨 書譜
日本大学 二年 上 石 早 姫
(三春町)

云々云々
早姫臨

◎準大賞

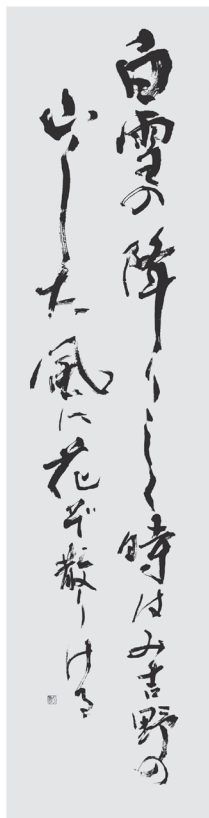
正岡子規詩
白鷗大学 三年 吉 田 理 彩 子
(小野町)

霜林懸北外城市隔
東臺人藉東城秋
敲白遠來
吉田理彩子書

136×35cm

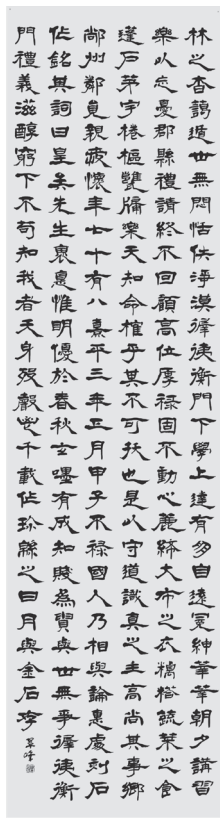
136×35cm

136×70cm



135×35cm

白雪の降りしき
副総務 佐藤夕佳
(宮城県仙台市)



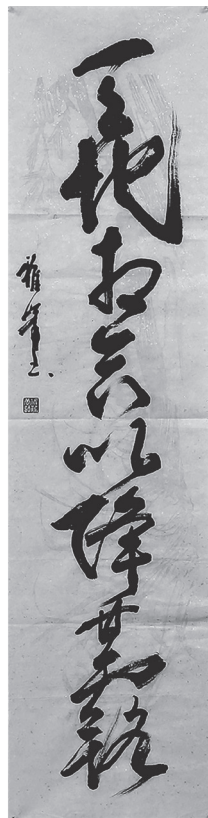
200×53cm

臨 楊峴
総務 故・水口翠峰
(川俣町)



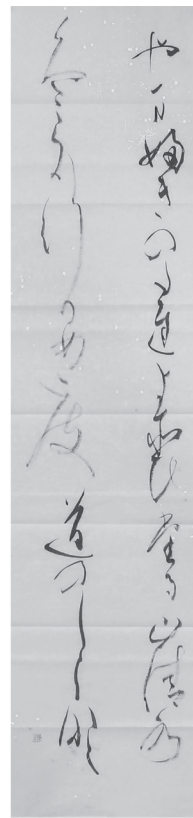
136×35cm

今日此相送
副会長 菅野晞光
(福島市)



135×35cm

天地相合
副会長 佐藤雅峰
(宮城県仙台市)



135×35cm

やまぶきの
会長 菅野精堂
(福島市)



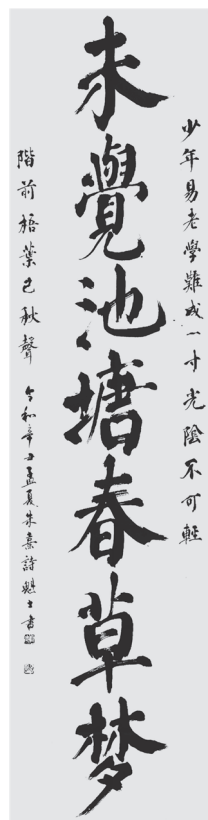
135×35cm

氣韻生動
客員 菅野泰洲
(福島市)



138×70cm

寿慶
常任理事 阿部大溪
(小野町)



225×53cm

七言絶句
常任理事 渡辺魁士
(三春町)



135×35cm

恬無欲
理事長 大関雅堂
(会津若松市)



全国高等学校総合文化祭（わかやま総文）
福島東高校 遠藤瑠夏さんと阿部祐太郎（剛節）先生
（大師塾）



全国高等学校総合文化祭（わかやま総文）
学法福島高校 阿曾萌生さん



全国高等学校総合文化祭 福島県代表生徒の皆さん



全国高等学校総合文化祭（わかやま総文）
安積黎明高校 長久保周子さん（大師塾）



全国高等学校総合文化祭 書道部門 福島県代表の生徒さんと顧問の先生方

第四十五回福島県書道連盟展

▼会期 令和三年十月十五日（金）
十七日（日）

▼会場 とうほう・みんなの文化センター
（福島県文化センター）

▼表彰式 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施せず
三階展示室

◎一般の部

- ・福島県知事賞 新田溪楓（小野町）
- ・福島県書連大賞 佐藤香月（伊達市）
- ・福島県書連大賞 二階堂黄岳（福島市）
- ・福島県書道連盟賞 飯沼咲華（川俣町）
- ・福島県文化センター館長賞 佐藤陽扇（会津若松市）
- ・福島市長賞 神永溪山（塙町）
- ・福島市教育委員会教育長賞 酒井幽泉（只見町）
- ・福島民報社賞 阿部大河（小野町）
- ・福島民友新聞社賞 西牧大暉（小野町）
- ・朝日新聞福島総局賞 佐藤清紫（福島市）
- ・読売新聞東京本社福島支局賞 藤井溪峰（小野町）
- ・毎日新聞福島支局賞 須田愛泉（福島市）
- ・NHK福島放送局賞 矢吹冴月（福島市）
- ・福島テレビ賞 松本華泉（小野町）
- ・福島中央テレビ賞 内海春邨（会津若松市）
- ・福島放送賞 佐藤信櫻（川俣町）
- ・テレビユー福島賞 阿曾雅舟（川俣町）

・ラジオ福島賞

小坂橋京霞（会津若松市）
・ふくしまFM賞 安藤友翠（郡山市）

◎学生の部

・大賞 清野里那（福島大学二年）
・準大賞 上石早姫（日本大学二年）
・準大賞 吉田理彩子（白鷗大学三年）

◎高校生の部

・大賞 阿曾萌生（学法福島高校三年）
・準大賞 遠藤瑠夏（福島東高校三年）
・準大賞 先崎美咲（郡山東高校三年）
・準大賞 渡邊美南海（福島東高校二年）

◎小中学生の部

・大賞 五十嵐 葵（御山小学校三年）
・大賞 中山 翠（南会津中学校三年）
・準大賞 末永万結（長倉小学校五年）
・準大賞 宗像奏美（小野小学校六年）
・準大賞 鈴木琉彩（富田中学校三年）
・準大賞 渡部奈々（須賀川第二中学校三年）

◎福寿賞

・遠藤峯順（昭和三年生・九十三歳・会津若松市）
・紺野方瞳（大正十三年生・九十七歳・福島市）
・関谷 一（昭和三年生・九十三歳・只見町）
・湯田典道（昭和二年生・九十四歳・南会津町）

◎最優秀団体賞

○文部科学大臣賞 富田東書写研究会（郡山市）

○県書道連盟大賞 書道研究会大師塾（小野町）

○福島市長賞 後藤教室（須賀川市）

◎団体特別賞

○天栄村立大里小学校（天栄村）
○いわき市立長倉小学校（いわき市）
○福島大学附属小学校（福島市）
○矢吹町立矢吹中学校（矢吹町）
○白河市立東中学校（白河市）
○福島県立福島高等学校（福島市）
○福島県立福島東高等学校（福島市）
○学校法人松韻学園福島高等学校（福島市）

○硯心書道会（福島市）
○會津会（会津若松市）
○太陽書道教室（塙町）
○五十嵐書道教室（南会津町）
○心雅書道会（福島市）
○西丸書道教室（古殿町）
○水口書道会（川俣町）
○佐藤書道教室（白河市）

◎優秀団体賞

○池田書道教室（喜多方市）
○小松山書道教室（喜多方市）
○若菜書道教室（福島市）
○魁士書院（三春町）
○木村書道教室（喜多方市）
○美雅書道教室（伊達市）
○永峰書道会（伊達市）
○松浦書道教室（国見町）
○梓風書道教室（福島市）
○みずほ書道教室（伊達市）
○黄雅書道会（福島市）



第45回展 一般の部 審査会
R3.7.11（於：学法福島高校）



第45回展 小中学生の部 審査会
R3.7.4（於：学法福島高校）



第45回展 高校生の部 審査会
R3.7.4（於：学法福島高校）